

令和7年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜盲学校

学校番号

101

自己評価

学校教育目標	・障がいによる学習上又は生活上の困難を克服し、互いに助け合い、明朗で、たくましく生きる力を身に着け、社会に貢献する児童生徒を育成する。
--------	---

評価する領域・分野	学習研修部「教育活動・学習指導」「研修（資質向上の取組）」	
現状及びアンケートの結果分析等	【アンケート結果】 ・「学校の先生は、専門性を深めるために積極的に研修などに参加している」では、「わからない」が8%。 【結果分析】 ・研修参加状況について、わからないという回答がやや多い。	
今年度の具体的かつ明確な重点目標	・専門性の維持・向上。 ・研修参加状況の周知。	
重点目標を達成するための校内組織体制	・学習研修部、コア・スクール推進委員会 ・教務情報部との連携	
目標の達成に必要な具体的取組	・岐阜県総合教育センター研修、職員研修会（講演）、新転任者研修、校内研修、校外研修、コア・スクールの取組、紀要作成。 ・研修参加状況を、当校ホームページに掲載。	
達成度の判断・判定基準あるいは指標	・職員の参加状況やアンケート結果、児童生徒の姿や評価アンケート結果、スーパーバイザーの指導助言（コア・スクール）	
取組状況・実践内容等	・令和7年度 当校職員が受講した主な研修 ○岐阜県総合教育センター研修…中堅教諭等資質向上研修等 ○職員研修会…夏季職員研修会、(コア・ティーチャー養成研修事業)研修会 ○新転任者研修…点字、歩行、触察、岐阜アソシア見学等 ○校内研修…グループ研究（小学部・中学部・普通科・理療科・寄宿舎）、職員相互授業参観（年3回）、テーマ別研修会（月1回 歩行、点字等） ○校外研修…視覚障害教科教育研究会、全日本盲学校教育研究会等 ・コア・スクールの取組…コア・ティーチャー研修領域（視覚障がい指導法） ・紀要作成…紀要「点と筆と」第54号の作成、他機関への発送。 ・当校ホームページの「研究」「コア・スクール」「研修」を更新。	
評価の視点		評価
① 視覚障がい教育の専門性を維持・向上できたか。		A B C D
② コア・スクールや各研修での学びを、職員へ還元できたか。		A B C D
③ 職員が参加した研修について、児童・生徒・保護者へ周知できたか。		A B C D
成果・課題		総合評価
○情報共有に努め、オンライン型の研修も含めて多数の職員が参加できた。 ▲参加した研修について、より効果的に全体に還元し、児童・生徒・保護者へ周知する。		A B C D
来年度に向けての改善方策案	・必要な研修に参加できるように計画し、研修内容を還元できる体制を作る。 ・当校ホームページに「研修」を掲載することは続け、当校主催の研修については記事として掲載する。	

学校関係者評価（令和7年6月30日、11月1日、令和8年1月28日実施）

意見・要望・評価等
・盲学校が魅力的な学校になることが大切で、晴眼者も来たいと思う学校を目指したい。児童生徒が行きたい、保護者が通わせたいと思う取組を検討してほしい。

